

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」 放課後子供教室の取組事例

子供たちの安全な居場所を提供する放課後子供教室(岩手県 普代村)

取組の概要や経緯

社会体育館を会場に、地域の大人の協力を得て、子供たちの居場所を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を実施している。多い時で20数名の児童が参加している。学校の振替休日等を利用して、「県北青少年の家」や「いわて子どもの森」などで活動する機会も設けている。

内容

- ・村内の小中学生を対象に1会場で実施している。
- ・開催は、祝日や年末年始を除き、月曜日から土曜日まで、実施している。
- ・学習や読書、体育館でのバドミントンや野球などの活動を見守り、支援を行う。また、活動場所以外において、「県北青少年の家」や「いわて子どもの森」での体験活動、そば打ち体験なども実施している。

ポイント

- ・子供たちの安全な居場所を確保することにより、子育て世代の就労の手助けにもつながっている。

成果

- ・放課後子供教室において学習や運動、友達との交流等、自由遊びによって子供の健やかな成長が図られている。また、活動場所以外でのそば打ち体験等の体験活動を実施することで、施設の利用や大人との関わりからマナーを学び、さらに家庭によって生じる体験格差を減少させることで、子供の身体的、精神的な成長の一助を担っている。
- ・登録者数・実施回数・延べ参加者数（平成29年12月末日現在）
登録者数（36人）、実施回数（178回）、延べ参加者数（2,478人）



今後の方向性

- ・安全安心な居場所の提供のためにスタッフとの綿密な連携を図っていく。
- ・体験学習について、内容が重複しないように、子供たちの成長につながる幅広い多様な魅力ある内容を提供していきたい。